

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮プランクトンの調査について

本日、赤潮プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。検鏡の結果、魚類に対して被害のあるコクロディニウム ポリクリコイデス（香川県の場合：注意報 100 細胞/mL、警報 1,000 細胞/mL）及びカレニア ミキモトイ（香川県の場合：注意報 10 細胞/mL、警報 500 細胞/mL）がそれぞれ最大で 253 及び 115 細胞/mL 確認されました。

注意が必要な細胞数に達している海域もありますので、警戒してください。

また、今後もさらに増殖する恐れがありますので、海色等には十分注意し、状況によっては餌止めなど適切な対応に心がけてください。

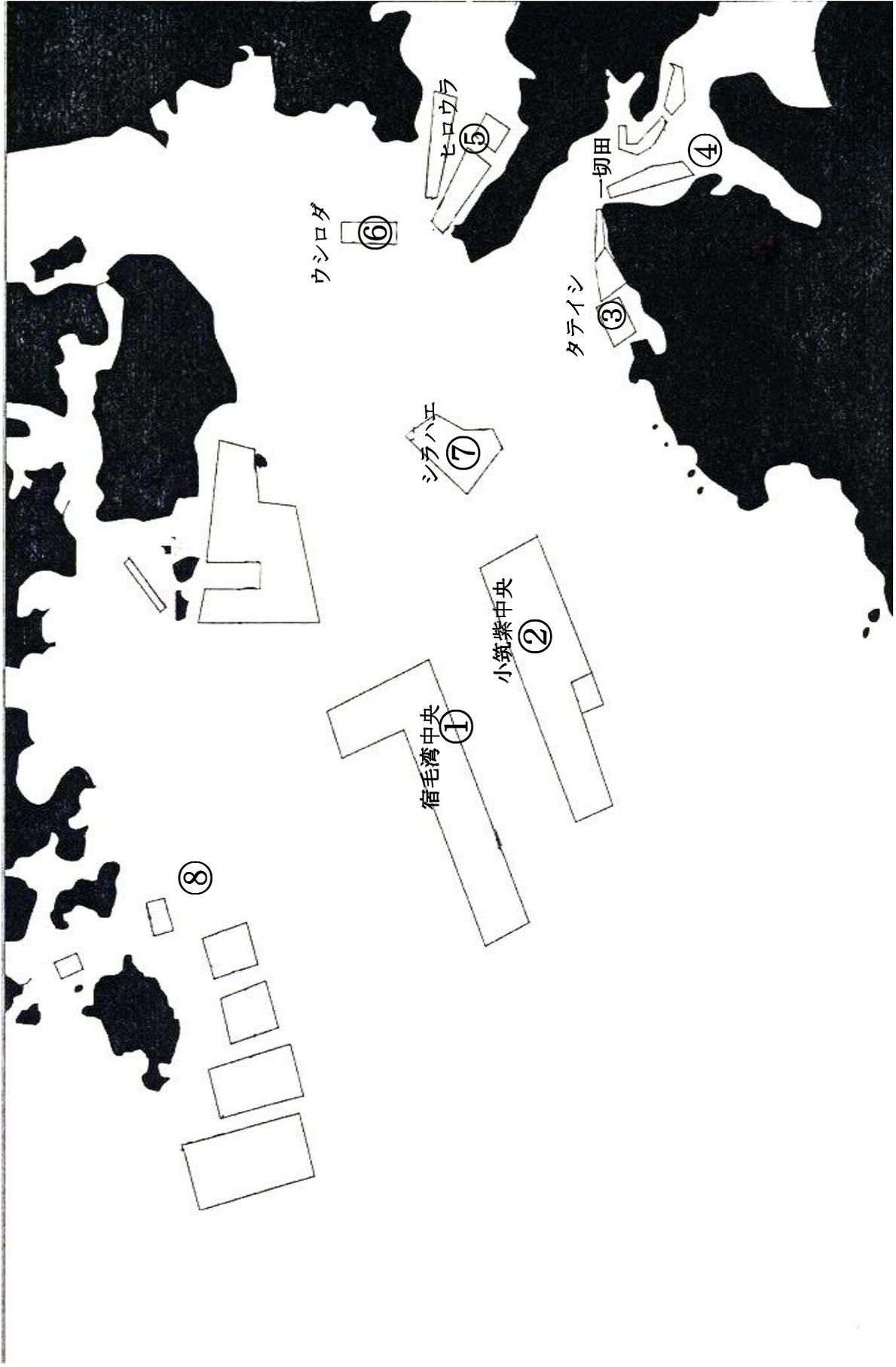
*1：魚類に対して被害のある種 *2：麻痺性貝毒の原因種

調査時間 (9:00～10:13)	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス*1	カレニア ミキモトイ*1	シヤトネラ属*1	ギムノディニウム カテナータム*2
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)				
宿毛湾中央 下図① 透明度 8m	0	27.0	31.1	6.48	0	4	0	0
	2	26.2	32.6	6.05	0	27	0	0
	5	26.0	33.4	6.38	0	51	0	0
小筑紫 下図② 透明度 9m	0	27.4	32.1	6.82	0	0	1	0
	2	26.7	33.2	6.66	0	5	0	0
	5	25.5	33.4	6.73	0	3	0	0
タテイシ 下図③ 透明度 8m	0	26.7	32.8	6.54	15	3	0	0
	2	26.1	33.2	6.13	71	8	0	0
	5	25.5	33.3	6.10	40	72	0	21
栄喜(湾口部) 下図④ 透明度 7m	0	27.2	32.2	7.05	36	0	1	0
	2	26.6	33.0	6.45	253	0	0	0
	5	26.3	33.2	6.21	50	9	0	0

*1：魚類に対して被害のある種

*2：麻痺性貝毒の原因種

採集地点	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム	カレニア	シヤトネラ属*1	ギムノディニウム カタナータム*2
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	ポリクリコイデス*1	ミキモトイ*1		
ヒロウラ 下図⑤ 透明度 5m	0	27.6	27.7	6.61	4	1	0	0
	2	26.8	32.9	6.52	159	2	0	0
	5	26.2	33.2	6.68	12	3	0	24
ウシロダ 下図⑥ 透明度 6m	0	27.0	25.1	6.93	70	1	0	0
	2	26.7	32.9	6.33	84	0	0	15
	5	26.0	33.2	5.97	45	27	0	0
シラハエ 下図⑦ 透明度 7m	0	27.1	31.2	6.69	0	0	0	0
	2	26.5	32.8	6.35	81	19	0	0
	5	26.1	33.3	6.22	32	105	0	0
藻津 下図⑧ 透明度 8m	0	28.3	31.1	7.09	0	0	0	0
	2	26.9	32.6	6.93	0	6	0	0
	5	26.1	33.3	6.34	0	115	0	0



宿毛湾中央 ①

小筑紫中央 ②

シラハエ ⑦

ヒロウラ ⑤

ウシロダ ⑥

タテイシ ③

一切田 ④

⑧